

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民病院 事務局			内線等	95 -1224
事務事業名	医療用機器等管理事業				事業コード	2 . 内部管理事務事業	
根拠法令等	地方公営企業法				A 法令		

総合計画での位置付け

基本目標	3 . 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
------	----------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	患者のために
手 段	医療用機器を良好な状態で維持管理することによって
想定する成果	的確な診断、かつ適切な治療を受けられるようになる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
機器保守委託件数	17件	19件	20件
機器保守委託料	31,947千円	44,092千円	48,936千円
医業収益	6,412,633千円	6,010,958千円	7,082,438千円

成果指標

成果指標名	保守件数 1 件当たりに対する保守委託料	医業収益に対する機器保守委託料の割合
成果指標の説明	機器保守委託料 / 機器保守委託件数	機器保守委託料 / 医業収益 × 100

事業の進捗状況 ( 病院事業 会計 ) ( 単位：千円 )

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		1,879千円				2,321千円				2,447千円			
成果指標		0.5%				0.7%				0.7%			
事業費	事業費	31,947				44,092				48,936			
	人件費	3,114				3,124				3,138			
	(人数)	正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤	
	合計	35,061				47,216				52,074			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	35,061				47,216				52,074			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	医療機器の不測の故障を防止し、適切な治療に役立っている。
経済効率性	2	1	3	1	適切な保守を行うことで、大きな故障による多額の修理費の発生を防止でき、また、使用できないことによる収入の減少を最小限に抑えられている。
事務効率性	2	2	2	1	
必要性	-	3	-	3	内部管理事務事業
小計	6	8	7	7	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	9	8	10	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	A
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
開院時に購入した医療機器が更新時期を迎えている。
上記改善点の実施状況
一部の医療機器(CT装置・MRI装置)は更新をしたが、なお更新の必要な機器が多数ある。

今後さらに改善すべき点

高度医療機器の保守委託料は高額であるため、適正な委託内容であるか、また、適正な委託金額であるかを、再度調査検討する必要がある。

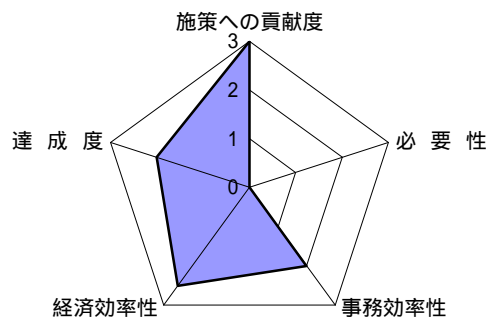
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的業務は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点